

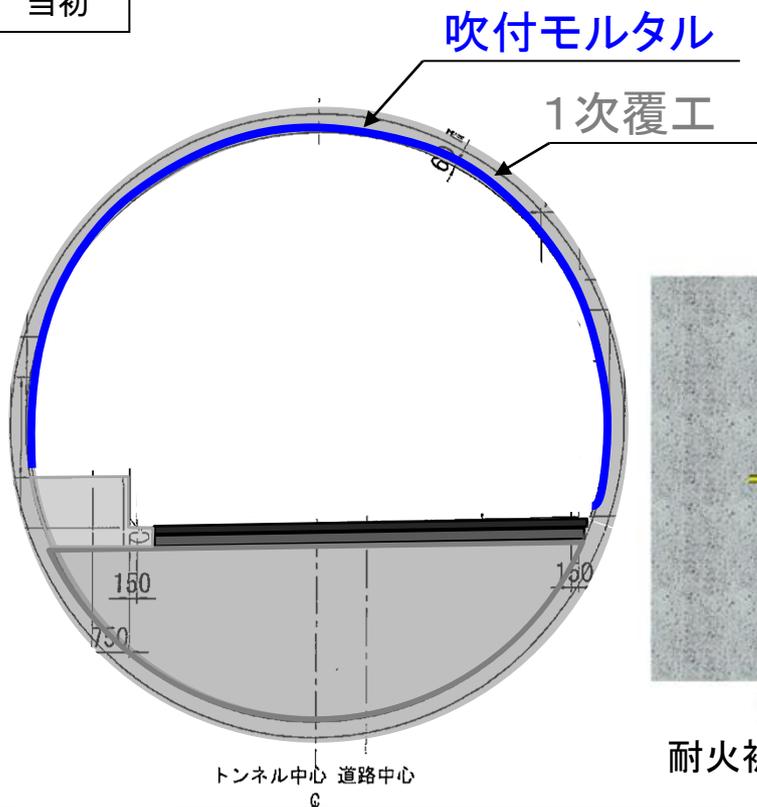
シールドトンネル耐火工法の見直し（大和川線）

概要：

二次覆工を省略したシールドトンネルにおける耐火工法について検討した結果、一次覆工の内側に耐火被覆材を施すタイプ（吹付モルタル）から、セグメントを通常のコンクリート製から有機繊維を混入したセグメントに見直すことによるコスト縮減。

■縮減額 約122百万円

当初



変更

